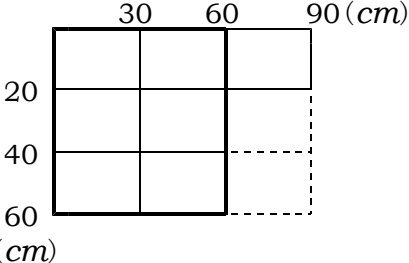


大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
20点	(1)	①	知識			8	5
	(2)	②	処理	3.0, 3.00	3	3	5
	(3)	③	知識	○ $\frac{4}{8}$ 約分ができていない。	3	$\frac{1}{2}$	5
	(4)	④	処理	○3と4の公倍数12などを分母にしている。 ○通分ができていない。 ○分母が24などのときに約分ができていない。	1 2 3	$\frac{11}{12}$	5
10点	(1)	⑤	処理	○3つの数の通分をしている。 $\frac{8}{30}, \frac{9}{30}, \frac{10}{30}$	2 3	$\frac{4}{15}, \frac{3}{10}, \frac{1}{3}$	5
	(2)	⑥	知識	○正しい答え1つにつき1点。 ○誤答及び未答1つにつき－1点。	1 3	1, 2, 3, 4, 6, 12	5
5点		⑦	考え	○図の中に、必要な辺の長さを書き込んでいる。(1点) ○求め方を正しい式や図などを使ってかいている。(3点) ○正しい答えを書いている。(1点)	1 4	○図に必要な長さを書き、正しい式と答えを書いている。 (例) $(4+8) \times 4 \div 2 = 24$ $8 \times 4 \div 2 = 16$ $24 + 16 = 40$ 答え 40 cm^2 (例) $12 \times 12 \div 2 = 72$ $4 \times 4 \div 2 = 8$ $12 \times 4 \div 2 = 24$ $72 - (8 + 24) = 40$ 答え 40 cm^2 (例) $12 \times 8 \div 2 = 48$ $4 \times 4 \div 2 = 8$ $48 - 8 = 40$ 答え 40 cm^2	5
10点	(1)	⑧	処理	○多めの概数にすることができている。(2点) ○概数による正しい計算の式を書いている。(2点) ○買えるに○をつけている。(1点) 上記の1つか2つのことができている。 (概数の例) 小麦粉 145円→(200)円 バター 298円→(300)円 さとう 98円→(100)円 たまご 185円→(200)円 生クリーム 147円→(200)円 ジャム 77円→(100)円 いちご 198円を2パック →(200)円を2パック 小麦粉 145円→(150)円 バター 298円→(300)円 さとう 98円→(100)円 たまご 185円→(200)円 生クリーム 147円→(150)円 ジャム 77円→(100)円 いちご 198円を2パック →(200)円を2パック	1 4	○左の3つのことができている。 (例) $200 + 300 + 100 + 200 + 200 + 100 + 200 \times 2 = 1500$ 答え 買える (例) $150 + 300 + 100 + 200 + 150 + 100 + 200 \times 2 = 1400$ 答え 買える (例) $200 \times 5 + 300 + 100 \times 2 = 1500$ 答え 買える (例) $200 \times 6 + 300 = 1500$ 答え 買える	5
	(2)	⑨	関心	○正しい線を1つ～2つかいている。(1点) ○正しい線を3つ～4つかいている。(2点) ○空欄に「300円引き」など割合を使わずに書いている。(1点) ○空欄に「50%引き」など割合を使って書いている。(2点) ○正しい線を全部(5つ)書いているが、空欄に「300円引き」など割合を使わずに書いている。	1 4 4	○正しい線を全部(5つ)かき、空欄に「定価の50%」「50%引き」「定価の5割」「5割引き」「半額」など割合を使って書いている。 	5

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
5 15点	(1)	⑩	処理	<p>○平成16年度から平成20年度までの収穫量の合計を求めている。</p> $8.6 + 6.5 + 7.1 + 5.3 + 7 = 34.5$ <hr/> <p>○5年間の平均を求める「合計÷年数」に数字をあてはめ、立式して5年間の収穫量の平均を求めようとしている。</p> $(8.6 + 6.5 + 7.1 + 5.3 + 7) \div 5$	1 3	<p>○5年間の平均を求める「合計÷年数」に数字をあてはめ、立式して、5年間の収穫量の平均を求めようとして、正答している。</p> $(8.6 + 6.5 + 7.1 + 5.3 + 7.0) \div 5 = 34.5 \div 5 = 6.9$ <p style="text-align: right;">答え <u>6.9 kg</u></p>	5
	(2)	⑪	考え	<p>○理由は書いていないが、⑩の畑に○をつけている。(1点)</p> <p>○1 m^2あたりの収穫量を求めるために</p> <p>⑥の畑 $7 \div 50$</p> <p>⑩の畑 $12 \div 80$</p> <p>の2つの式を立式している。(2点)</p> <hr/> <p>○2つの式を立式し、0.14, 0.15の値を書いているが、⑩の畑に○をつけていない。</p>	1) 3 4	<p>○1 m^2あたりの収穫量を求めるために</p> <p>⑥の畑 $7 \div 50 = 0.14$</p> <p>⑩の畑 $12 \div 80 = 0.15$</p> <p>と正しく立式し、答えを導き出し、⑩の畑に○をつけている。</p>	5
	(3)	⑫	関心	<p>○選んだ地方の収穫量の割合を書いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい割合を書いている。(2点) ・割合が間違っている。(1点) <p>○選んだ地方の収穫量を書いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい量を書いている。(3点) ・量が間違っている。(1点) 	1) 4	<p>○円グラフを見て、ある地方の収穫量の割合と収穫量を書いている。</p> <p>(例) 九州地方の大豆の収穫量は、国内の20%です。だから、九州地方では、46000トンの大豆が収穫されることが分かります。</p>	5
6 10点	(1)	⑬	知識	○正しい答えを一部書いている。 1つにつき1点	1) 3	○正しい答えを全部書いている。 A $(\frac{1}{3})$ B $(\frac{1}{4})$ C $(\frac{1}{6})$ D $(\frac{1}{8})$	5
	(2)	⑭	考え	<p>○通分や公倍数の考え方を書いている。</p> <hr/> <p>○正しい答えを書いている。</p>	2 3	<p>○通分や公倍数の考え方を書き、次のいずれかを書いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(A)のコップで(1)はい ・(B)のコップで(2)はい ・(C)のコップで(1)はい ・(A)のコップで(1)はい ・(C)のコップで(1)はい ・(D)のコップで(4)はい ・(B)のコップで(1)はい ・(C)のコップで(3)はい ・(D)のコップで(2)はい 	5
7 10点	(1)	⑮	処理	<p>○答えのみを正しく書いている。</p> <hr/> <p>○上の□に $2 \times 2 \times 3.14 \div 2$ を書いている。</p> <hr/> <p>○上の□に $2 \times 2 \times 3.14 \div 2$ を書き、下の□に 6.28 を書いている。</p>	2 3 4	<p>$2 \times 2 \times 3.14 \div 2$</p> <p>$6.28$</p> <p>$9.42$</p> <p style="text-align: right;">答え ㉞の面積 <u>$9.42 m^2$</u></p>	5
	(2)	⑯	考え	<p>○㉞の面積のみを正しく書いている。</p> <hr/> <p>○㉞の面積を求めるための言葉の式や計算式を正しく書いている。</p> <hr/> <p>○㉞の面積を求める式を正しく書いて、面積を正しく求めている。</p>	2 3 4	<p>○㉞の面積を求める式を正しく書いて、面積を正しく求め、</p> <p>(例) $2 \times 2 \times 3.14 - 1 \times 1 \times 3.14 = 9.42$</p> <p style="text-align: right;">㉞の面積 <u>$9.42 m^2$</u></p> <p style="text-align: right;">答え 同じです に○をしている。</p>	5

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
8	(1)	⑰	処理	<div>○答えのみを正しく書いている。</div> <div>○(道のり)÷(時間)の式を書いている。 (例) $1.8 \div 12$ $1800 \div 12$</div>	<div>2</div> <div>3</div>	<div>(例1) $1.8 \div 12 = 0.15$ $0.15 \text{ km} = 150 \text{ m}$</div> <div>(例2) $1800 \div 12 = 150$ 答え 分速 150 m</div>	5
	(2)	⑱	考え	<div>○答えのみを正しく書いている。</div> <div>○みほさんの家から図書館までにかかる時間を求めている。 (例) $1.2 \div 60$ $1200 \div 60$</div> <div>○みほさんの家から図書館までにかかる時間を求め、さらに、実際にかかった時間を求めている。 (例) $1.2 \div 60$, $1200 \div 60$などに併せ $55 - 30$を書いている。</div>	<div>2</div> <div>3</div> <div>4</div>	<div>(例) $1200 \div 60 = 20$ $55 - 30 = 25$ $25 - 20 = 5$ 答え 5 分間</div>	5
9	(1)	⑲	考え	<div>○1辺の長さが(60) <i>cm</i>と書いている。</div> <div>○1辺の長さが(120) <i>cm</i>と書いている。</div> <div>○1辺の長さが(60) <i>cm</i>, (120) <i>cm</i>の正方形となる、と記述しており、図や計算による説明も記述している。 20の倍数 (20, 40, 60, 80, 100, 120, ...) 30の倍数 (30, 60, 90, 120, ...) 20と30の公倍数を求めればよいことが理解できている。</div>	<div>2</div> <div>3</div>	<div>○1辺の長さを求めるために、20と30の公倍数を求め、1辺が2 <i>m</i>の壁面に飾り付ける、という条件に合う解答を、正しく求めている。 20の倍数 (20, 40, 60, 80, 100, 120, ...) 30の倍数 (30, 60, 90, 120, ...) 20と30の最小公倍数は(60) 1辺が2 <i>m</i>の正方形にはることができる最も大きな正方形を求めればよいので、60の倍数で、条件にある数を求めればよい。 60の倍数 (60, 120, 180, 240, ...) 答え 1辺の長さが180 <i>cm</i></div> <div>(別解) </div> <div>○図を使って、公倍数の考え方を説明して、正答している。</div>	5
	(2)	⑳	処理	<div>○最も大きな正方形である、1辺が(180) <i>cm</i>の正方形をつくるには、 「縦に9枚 横に6枚」必要であると書いているが、正答することができていない場合。</div> <div>○(1)で誤答したが、正しい求め方を書いている場合。 (例) (60) <i>cm</i>と書き、 「縦3枚 横2枚が必要」 だから $3 \times 2 = 6$ 6枚 (例) (120) <i>cm</i>と書きし、 「縦6枚 横4枚が必要」 だから $6 \times 4 = 24$ 24枚 など</div>	3	<div>○最も大きな正方形は1辺が(180) <i>cm</i>の正方形となることを使い、 1辺が180 <i>cm</i>の正方形をつくるためには、「縦に9枚 横に6枚」が必要である。 だから、$9 \times 6 = 54$枚 答え 54枚</div> <div>(別解) 図などを使って、上記の条件を書いており、正答している場合。</div>	5